

46^{Shiro} TIMES

江原シロ - 県政レポート No.4

編集発行 愛知県議会議員 江原史朗事務所
〒457-0007
名古屋市中区南區一丁目11-19
TEL 052-602-4077 FAX 052-602-4088
E-mail info@s-ehara.jp

あいち民主県議団
名古屋市中区丸の内三丁目1-2
TEL:052-954-6713 (代表)

愛知県議会議員(名古屋市中区) 江原シロ

新米県議・江原シロ - 愛知県政についてお伝えします！

「変わろう。創ろう。」を合言葉に、
人への投資で地域から活力を取り戻します！



本会議 登壇 (9月26日一般質問)

技能検定 日当問題を直撃！

～真のモノづくり王国あいちにむけて～

10年以上にわたり「据え置き」となっていた「日当額」問題。本県は自他ともに認める「モノづくり王国」であり、その力の源泉は技術が連綿と継承されてきたからこそ。その継承を担う「技能検定」制度は、法令に戻づく制度であるにもかかわらず、実際の検定現場では、企業や職域団体の皆様による「思い」や「善意」でなりたっているという現状。とりわけ、検定委員や補佐員への日当 6,300 円は、長きにわたり据え置かれ（消費税増税時に 120 円増額）ており、近年の物価高や人材不足にあえぐ現場からは、日当水準の改善要望が寄せられてきた。本県の日当額は 47 都道府県の中で下位 5 位以内。長年にわたり企業や職域

団体の「持ち出し」で何とか維持されてきた技能検定制度が、この先も技術の継承のために機能するためには早期に日当額を見直すべきと質問。

県からの答弁

残念ながら労働局長からは「(実施を委託している) 職業能力開発協会が行う話」との答弁となった。

江原シロからの後追い

長年にわたり現場からの改善要望を黙殺してきた県の対応に対して、県が主体的に、責任をもって一刻も早く改善に取り組むべきと県の認識を再質問。2028年技能五輪国際大会までに、モノづくり王国あいちとして恥ずかしくない日当水準とすべく、限られた時間の中で、県に対して強力に働きかけていきます。

発達障害の早期発見・早期療育にむけて！ ～「5歳児健診」掛け声倒れに要注意～

令和5年12月、こども家庭庁は、新たに「5歳児健診」を創設する方針を打ち出した。従来の1歳6か月児健診、3歳児健診に加えて、子どもの心の発達をみる「5歳児健診」は、これまで見逃されがちであった「グレーゾーン」の早期発見につながり、不登校などの2次障害が起きる前に、適切な療育を行うことは大変効果的であると期待される。一方、本県をはじめ、全国的に「5歳児健診」実施にむけた動きは足踏み状態となっている。健診医や保健師の確保の難しさがハードルとなっており、国が求める「2～3年をめど」での実施は困難となる見通し。近年世界の動きをみると、発達障害を抱える人々の脳や神経特性を「ニューロダイバーシティ」として捉え、金融やIT領域における強みと捉える動きがでている。

日本でもメガバンクや大手総合研究所において、研究会が立ち上がるなど、障がい「強み」とする動きが出始めた。そうした動きの前提として、障がいを抱える子どもたちが早くから適切な療育により、強みを伸ばすことができる社会環境が求められている。

県からの答弁

保健医療局からは「人材確保が難しく実施困難」との答弁。

江原シロの考え

わずかながら全国においては先行事例もあることから、園医方式、抽出方式など実現に向けて引き続き県への提案を続けて参ります。



2024年9月議会 警察委員会質疑

「やりがい」と「働きやすさ」の両立へ！

近年、全国的に警察官への就職希望者数が減少傾向にあり、愛知県警においても10年間で応募者数が半減するという事態となっている。一方で、民間企業によるアンケート結果をみると、小学生男子に限ってみれば「なりた職業：第4位」にランクイン。

純粋に職務への「憧れ」という点においては、大きなアドバンテージがある「警察」職ではあるものの、激化する就職現場においては「選んでもらえ

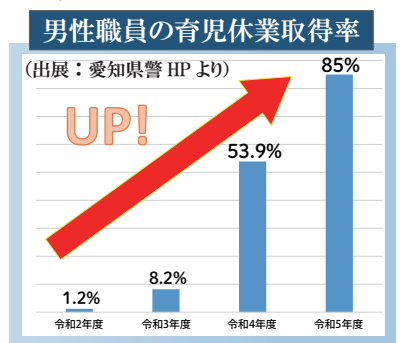


ない」状況が深刻化。民間企業における給与水準のアップや様々な働き方改革が進む中であって、いかに優秀な人材確保を行っているのか？県警察の取組について質問。就活生が「警察」職に対して抱く「きつい、厳しい」というイメージに対して、「警察学校の親子見学」や職場体験などの取組に加え、「働きやすさ」についても急ピッチで対応が進む現状を確認。

とりわけ愛知県警における「男性職員の育児休業取得率」は、令和2年度1.2%から、わずか3年で85%へ進んだ点など、急速に働き方改革が進んでいるとの答弁。一方で、そうした取り組みが、就活生に届いていないという可能性について、SNS等による積極的な



アピールを行うよう必要があると要望。引き続き、県民の安心安全を守るため、激化する就職戦線において、優秀な人材確保、安定して優秀な人材確保ができるよう強く要望しました。



民間施設も活用したペット避難体制へ！

本年8月8日の日向灘沖地震をきっかけに、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表された。多くの皆様、改めて地震への備えについて意識をされたものと思います。自然災害の発生を防ぐことはできませんが、被害を減らす「減災」はできます。1月1日の能登半島地震については、



いまだ避難所生活を送られている方々がいます。一刻も早い復旧復興を祈りつつ、震災からの教訓に学び、南海トラフ地震への備えを進めていくべく質問。とりわけ、過去の大震災から積み残しとなっている「ペット避難」の在り方について質問。2016年4月の熊本地震では、226人は「ペットがいたから」との理由で車中泊を選択。そのような中で、エコノミークラス症候群などによる

災害関連死の発生は「防ぐことができた死」であったと考えられる。

国は2018年には「人とペットの災害対策ガイドライン」を改定し、飼い主とペットと一緒に避難する「同行避難」を推奨する方針を打ち出している。犬山市では、市内33か所の市指定避難所のうち3か所を、ペットと飼い主と一緒に過ごせる「同室避難」スペースとして確保しており、本県として、そうした先例を参考に、飼い主が避難所への避難を躊躇

することが無いよう、市町村における避難体制づくりを支援すべきと質問。

県からの答弁

県防災安全局からは、様々な民間施設の活用も視野に、柔軟な避難所づくりに取り組むとの答弁。

江原シロの考え

地域にあるペットホテルや保護団体、動物病院との連携を緊密にすることで現実的なペットとの避難体制づくりを後押ししていきます。

本会議の映像はこちらからご覧いただけます



紙面の内容がご覧いただけます。過去の質問も併せてご確認ください。



あいち民主議団
名古屋市中区丸の内三丁目1-2
TEL:052-954-6713 (代表)



46^{Shiro} TIMES

愛知県議会議員(名古屋市南区) 江原シロー

江原シロー 県政レポート No.4

編集発行 愛知県議会議員 江原史朗事務所
〒457-0007
名古屋市中区丸の内一丁目11-19

TEL 052-602-4077 FAX 052-602-4088
E-mail info@s-ehara.jp

時事 コラム

お客様は、神様!?議論が進むカスタマーハラスメント

最近、耳にすることが増えた「カスタマーハラスメント」。通称「カスタハラ」。皆さんも、お店や行政機関で「カスタハラ」についてのポスターやチラシを目にした方もおられるのではないのでしょうか?近年、「お客様は神様」から「消費者とサービス提供が対等な関係」へと変わりつつあります。そうした社会の情勢変化を見据え、あいち民主議団の有志メンバーで

全国に先んじてカスタハラについての条例化に取り組む東京都議会や関係団体への調査を行いました。どこまでが、(正当な)クレームであり、どこから「ハラスメント」となるのか?その線引きの難しさがあるものの、消費者もサービス提供者も気持ちよく商取引を行える環境づくりにむけては、社会全体での気運醸成が大切ではないでしょうか。

参考

令和元年6月に、労働施策総合推進法等が改正され、職場におけるパワーハラスメント防止のために雇用管理上必要な措置を講じることが事業主の義務となりました。この改正を踏まえ、令和2年1月に、「事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指

針」(令和2年厚生労働省告示第5号)が策定され、顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為(カスタマーハラスメント)に関して、事業主は、相談に応じ、適切に対応するための体制の整備や被害者への配慮の取組を行うことが望ましい旨、また、被害を防止するための取組を行うことが有効である旨が定められました。

フィールドワーク レポート



警察委員会県内調査にて
指紋採取の技術



車いすごと乗り込めるブランコ
「インクルーシブブランコ」



(一社)SORA 小さな命を救う会さん訪問
ボランティアスタッフの皆さんへのご挨拶



南区「明治交番」リニューアル内覧会

無料相談 受付中
毎月第一土曜日(9:00~12:00)
ご予約は TEL:052-602-4077
※事前にご予約をお願いします。
公務等によりお日にちが変更となる場合がございます。

県政レポート 配布サポーター募集

江原シロー事務所では、定期的に発行する県政レポートをお配りするにあたり、一緒に配布をしていただけるサポーターを大募集中です。ぜひお気軽にお問合せください。

お問合せ先
江原シロー事務所まで

県政トピック・ピックアップ

1 8月8日に発表した南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)について

2019年の運用開始以来、初めてとなる南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。県では、直ちに災害対策本部を立ち上げ、地震への警戒に当たるとともに、県民の皆様へ地震への備えを再確認いただき、地震が発生したらすぐに避難できるように準備をしていただくよう呼びかけました。(※8月15日に終了)県では、県民の皆様へ、南海トラフ地震臨時情報を正しく理解いただき、適切な避難行動や事前の備えに役立てていただけるよう、8月20日から県政お届け講座に「南海トラフ地震への備え~備えあれば憂いなし~」を新しく開設いたしました。ぜひ、ご活用ください。

【問合せ先】
(南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)に関すること)
県防災安全局災害対策課災害対策グループ 電話(052)954-6193(ダイヤルイン)
「南海トラフ地震への備え~備えあれば憂いなし~」の講座に関すること
県防災安全局防災危機管理課啓発グループ 電話(052)954-6190(ダイヤルイン)

Shiro's Opinion 東日本大震災の教訓を、戸羽太さん(前・陸前高田市市長)から伺いました。「自然災害の発生を防ぐことはできないけれど、被害を少なくする減災はできる」との言葉が大変印象に残りました。南海トラフ地震に備え、今一度、「命を守る」行動の点検・準備をお願いします。

3 2028年技能五輪国際大会の開催地が日本・愛知に決定!

本年9月9日、フランス・リヨンで開催されたWSI(ワールドスキルズ・インターナショナル)総会において、2028年技能五輪国際大会の開催地が日本・愛知に決定。

日程	開会式	2028年11月15日(水)
	競技	2028年11月16日(木)~19日(日)
	閉会式	2028年11月20日(月)
会場	競技会場	Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)
	開閉式会場	IGアリーナ(愛知県新体育館)
開催テーマ		技能がたく、持続可能な未来
競技種類		62種類
参加国・参加者		65か国・地域以上、約5,300人
主催		(公財)2028年技能五輪国際大会日本組織委員会(仮称)(注) 【厚生労働省、中央職業能力開発協会(JAVADA)、県により設立】

【問合せ先】
県労働局産業人材育成課
技能五輪 アピリンピック
推進室国際大会グループ
電話(052)954-7451
(ダイヤルイン)

Shiro's Opinion モノづくり王国あいちへ世界中の技術者が集結。ハイレベルな戦いを間近にみることができるといえない機会。未来の技術者に夢と希望をもたらす世界大会の開催にむけて、現在、課題となっている「技能検定制度」が抱える諸課題の解決を目指してまいります。

2 日本最大スタートアップ拠点「STATION Ai」がオープン!

日本最大となるスタートアップ支援拠点「STATION Ai」が、10月31日にグランドオープン。1000社の入居を目標とし、スタートアップに必要な施設機能と支援プログラムをワンストップ・ワンルーフで提供。スタートアップの創出・育成・展開・誘致を推進することで、世界最大のスタートアップコミュニティの形成を進めます。



STATION Ai 外観イメージ

【問合せ先】
県経済産業局スタートアップ推進課拠点推進グループ
電話(052)954-6699(ダイヤルイン)

Shiro's Opinion グランドオープンとなった STATION Ai。ここから、世界に羽ばたくユニコーン企業が誕生するかどうかは、自由な発想とスピード感のある資金調達が鍵。若い世代が、将来の目標設定においてスタートアップ(起業)という道を堂々と選べるようになるために、STATION Ai が担う役割は大変重要です。次の日本経済をけん引役の登場に大いに期待します。

4 愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」

2005年に開催された愛知万博から20年。改めて愛知万博を振り返り、次の世代にその理念と成果をつなげていくため、県では、2025年3月25日から9月25日まで、愛・地球博記念公園で愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」を実施します。是非、会場にお越しください。

会期 2025年3月25日から2025年9月25日まで
会場 愛・地球博記念公園
メインテーマ つなぐ未来(あした)へ
サブテーマ ①愛知で、さがそう!遊ぼう!つながろう!
②語りあおう!つなげよう!自然の叡智



Shiro's Opinion 大成功を収めた愛・地球博。改めて自然との共生が求められる今、次世代に理念と成果をつないでいく試みとなる「愛・地球博20祭」。万博を一過性のイベントとして消費するのではなく、理念や成果を繋いでいく「万博のその後」の在り方を考えるうえで大切な取組です。

46^{Shiro Ehara} 報告の義務

議員は社会全体の奉仕者です。だからこそ、議員の給与は税金によって賄われています。議会活動を通じて、地域社会を今日より明日、少しでも良いものにする。そのための役割が「議員」です。

愛知県の施策や課題、議会の状況を報告することは議員の当然の仕事であり、ピラや街頭、県政報告会などを通じ、県民の皆様へ常日頃から報告することは義務だと考えています。「政治不信」が叫ばれて久しい今だからこそ、政治や政治家が何をやっているのか、様々な場所で、様々な手段で見える化を実現します。

愛知県政へのご要望・ご意見をお待ちしております

◎愛知県議会議員江原シロー事務所
E-mail / info@s-ehara.jp
住所 / 名古屋市中区丸の内一丁目11-19
電話 / 052-602-4077 FAX / 052-602-4088

公式HP



https://s-ehara.jp

日頃の活動情報はこちら!



Facebook



Instagram

江原シロー [江原史朗] 略歴

1981年 10月6日生
2004年 早稲田大学教育学部卒業後、民間企業(建材商社・住宅ディベロッパー)にて、営業職や新規事業の開発等に従事
2006年 衆議院議員 牧義夫 秘書
2015年 一般社団法人あいち障がい者・障がい児支援センター設立
2016年 参議院議員 伊藤孝恵 公設第一秘書
2019年 衆議院議員 牧義夫 秘書
2021年 衆議院議員 牧義夫 公設第一秘書
2023年 愛知県議会議員(南区)初当選

資格

◎訪問介護員2級養成研修課程修了 ◎福祉用具専門相談員
◎証券外務員二種 ◎第3級アマチュア無線技士
◎大型自動二輪免許